



気管内吸引

No.2

手 順

2. 吸引をしましょう

- ① 吸引チューブを気管カニューレの中に入れます
*この時に吸引チューブを折り曲げて吸引の圧をかけないようにします



- ② 吸引チューブの折り曲げをもどし、吸引チューブを指でこよりをよるようにゆっくり回転させながら吸引をします

*1回の吸引時間は10～15秒以内を目安にしましょう

*挿入の深さは気管切開カニューレの先端から0.5～1 cm 出るくらいです 挿入長さを主治医に確認しましょう

お子様の場合 挿入の長さは _____ cm

*吸引チューブを挿入する長さを毎回確認しましょう

○吸引チューブが入らない ⇒ 閉塞の疑いあり

○吸引チューブの入れすぎ ⇒ 気管内を傷つける、肉芽を作る原因となる



- ③ 吸引チューブ内に分泌物がたまったり、たくさんついた時には、水を吸って汚れを洗い流してから吸引しましょう
吸引チューブの外側の汚れがある時は、ティッシュなどで拭き取ります

- ④ 吸引中は呼吸や顔色、SpO2モニター値を観察してください
また、痰の性状も観察しましょう
*注入後は刺激で嘔吐しやすいので注意しましょう



- ⑤ 吸引後は蘇生バックで加圧換気を行いましょ
特に続けて吸引するときは、蘇生バックで換気を十分にしてから行ってください
酸素が必要なお子様は医師の指示により使用しましょう

- ⑥ 分泌物がとれるまで①～⑤の手順を繰り返しましょう

- ⑦ 吸引が終わったら、最後に消毒液を吸い、吸引チューブ内をきれいにして、消毒液にひたしておきましょう。
吸引チューブの外側の汚れはティッシュなどでふき取ってからひたしましょう

- ⑧ 吸引器の電源をOFFにします

- ⑨ 吸引後の様子を観察しましょう
顔色、呼吸音、胸の上がり、SpO2モニター値など



気管内吸引 NO.3

日々の管理のポイント

◆吸引グッズのお手入れについて

- * 消毒液や水道水の容器は毎日よく洗い、清潔にしておきましょう。
- * 吸引びん内の痰はこまめに捨てて、そのまま放置しないようにしましょう。
- * 吸引器のホース内は十分水を流して、いつもきれいにしておきましょう。
カビが発生した時は交換しましょう。

◆使用済みの医療物品（吸引チューブ等）は、お住まいの地域のルールに従って捨ててください。

◆吸引器等の故障・不調時は、取り扱い業者または療育支援部、外来の看護師にご相談下さい。

人工鼻について

人工鼻は自分自身の呼気の湿度を再吸入して気道の湿度を維持するために必要です。

気管カニューレは気道の途中に開いている穴（気切孔）から挿入されていて空気の通り道になっています。

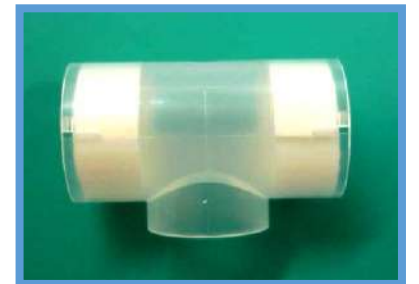
本来、鼻の粘膜が空気を加湿したり異物を取り除いていますが、気管切開をしていると、気管カニューレが空気の通り道になります。

そのため人工鼻が、鼻と同じように加湿と異物除去の役割を果たします。

【管理方法】

1日一回交換してください。

水に濡れたり、分泌物で汚れた場合は取り替えましょう。



【注意事項】

* 人工鼻を接続することで、気管カニューレの事故抜去の危険性が増すので、カニューレの固定を確実にし、観察を十分に行いましょう。

※工夫として、手作りの人工鼻ホルダーもあります。療育支援部にご相談下さい。

* 人工鼻をつけたまま、加湿器やブラザーで加湿すると人工鼻のフィルターがつまって呼吸ができなくなり危険です。加湿する時は人工鼻をはずして下さい。

何かお困りのことがございましたら、かかりつけ医か当院外来にご相談下さい。